

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

| 達成度(評価) | |
|---------|---------------|
| A | : 十分達成できている |
| B | : おおむね達成できている |
| C | : やや不十分である |
| D | : 不十分である |

| | |
|-----|------------|
| 学校名 | 唐津市立名護屋小学校 |
|-----|------------|

| | |
|------------------|---|
| 1 前年度 評価結果の概要 | <p>学校教育目標「共に、学び合う、支え合う、高め合う仲間」の具現化に向けて、学び部・豊か部・たくまし部の3部会を中心に、本年度の重点目標達成のために取り組んできた。</p> <p>(1) 学校経営の充実……すべての項目が最終評価においてA評価となった。</p> <p>(2) 確かな学力の定着……海育中校区各学年の家庭学習目標時間の達成率90%、家庭学習提出率98%、学習用具の準備率86%であった。様々な調査でも全国平均や県平均を上回っており、着実に学力がついているものと思われる。来年度も今年度と同様、めあてを設定し継続した指導を行っていく。</p> <p>(3) 豊かな心の育成……月の生活のめあてを児童に意識させ、月ごとに〇〇名人の認定証を渡し、動機付けを行ったことで、全員が〇〇名人になることができた。「〇〇名人」の取組を今後も継続して行い、さらに児童の意欲付けとなるような取組を考えていくことや、全校的に友達の良さを認め合うような取組を計画的に仕組んでいくことが必要である。</p> <p>(4) 特別支援教育の充実……特別支援委員会の参加対象者を多くすることで情報共有が確実にできた。気になる子研での情報共有もよくできた。今後も継続して取り組んでいきたい。</p> <p>(5) 健康・安全教育の充実……スポーツチャレンジは、どの学年も積極的に取り組んだ。どの学年も熱心に取り組み、ブロンズ賞、シルバー賞、ゴールド賞、奨励賞をもらうことができた。縦割り班での取り組みもでき、学校全体の取り組み回数が多かったということで、エントリー賞を受賞できた。どの学年も記録に挑戦する姿が望ましい学級づくりにつながっていた。さらに継続して取り組むことができれば、児童の体力向上だけでなく、好ましい人間関係が築かれ学級づくりに寄与すると思われる。</p> <p>(6) 生徒指導の充実……児童は、自分ではあいさつができていないと感じており、地域でのあいさつも増えてきた。しかし、集団登校時や個人でいる時のあいさつには個人差がある。言葉遣いについても、丁寧な言葉遣いができるようになってきたが、個人差がある。今後も、地域や保護者の方々に協力をお願いしながら継続して指導を行っていく。</p> <p>(7) 家庭や地域との連携……学校だよりの発行、学校ホームページやはまる掲示板の更新は、月1回以上行うことができた。年度の途中からは、学校だよりを校区の方々全戸に配付し、情報を多方面に発信することができた。この取組を継続して行い、家庭や地域と密な連携をしていきたい。</p> |
|------------------|---|

| | |
|----------|------------------------|
| 2 学校教育目標 | 自ら学び、判断し、行動できる名護屋つ子の育成 |
|----------|------------------------|

| | |
|------------|---|
| 3 本年度の重点目標 | (1) 学級経営の充実 (2) 確かな学力の定着 (3) 豊かな心の育成 (4) 特別支援教育の充実 (5) 健康・安全教育の充実 (6) 生徒指導の充実 (7) 家庭や地域との連携 |
|------------|---|

| | | | |
|---------------|------|--------|--|
| 4 重点取組内容・成果指標 | 中間評価 | 5 最終評価 | |
|---------------|------|--------|--|

| (1) 共通評価項目 | | | | 中間評価 | | 最終評価 | | 学校関係者評価 | | 主な担当者 | |
|--------------------|---|--|--|---------|----------|---------|------|---------|-------|-----------------------------|-------------------------------|
| 評価項目 | 重点取組 | | 具体的取組 | 進捗度(評価) | 進捗状況と見通し | 達成度(評価) | 実施結果 | 評価 | 意見や提言 | | |
| | 取組内容 | 成果指標(数値目標) | | | | | | | | | |
| ●学力の向上 | ●全職員による共通理解と共通実践 | ●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上にする。 | ・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。 | | | | | | | 学び部 学力向上コーディネーター 研究主任 | |
| | ○基礎的・基本的学習内容の定着 | ○海育中校区各学年の家庭学習目標時間の達成率を90%以上。 ○家庭学習提出率を90%以上。 ○学習用具の準備率を90%以上。 | ・家庭学習を工夫し、授業に生かしたり、個別指導に生かしたりする。 ・学校だより、学級だより、保護者会等で呼びかけ、家庭との連携を緊密にする。 | | | | | | | 学び部 学力向上コーディネーター 研究主任 | |
| ●心の教育 | ●心の教育 | ○全児童が、「〇〇名人」に1回はなるようにする。 ○公の場で相手を尊重する呼称(さん、くん)をつけることのできる児童を90%以上にする。 ○進んで挨拶ができる児童を90%以上にする。 ○あいさつの場面や時間を具体的に設定して取り組ませる。 | ・内発的動機付けのできる児童の育成を心掛け、意識をして指導をしていく。 ・生活のめあてに準じて、月ごとに〇〇名人の認定証を渡し、動機付けを行う。 ・学校だよりや保護者会などで呼びかけ、家庭との連携を図る。 ・帰りの会等に友だちの良さを見つけさせる等、認め合う場を設ける。 | | | | | | | 豊か部 | |
| | ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 | ○Q-Uテストで「学級生活満足群」の割合を60%以上にする。 ○いじめ未解決件数を0件にする。 | ・心のアンケートを各学期に1回実施し、状況把握に努める。 ・実践的な教職員の校内研修を1回以上実施する。 ・Q-Uの結果を基に、SCやSSW等と協力しながら良好な対人関係を築く。 | | | | | | | 生徒指導主任 | |
| | ○人権教育の推進 | ○「友達に思いやりの気持ちをもって優しく接している」と回答する児童85%以上 | ・校内研究を基にした授業と、各教科、特別活動など教育課程全般で道徳教育の推進を図ることができるように教員間の共通理解を図る。 | | | | | | | | 人権・同和教育主任 研究主任 道徳教育推進教員 |
| | ◎児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動 | ◎児童へのアンケートで、「自分の目標に向かって進んで取り組むことができた」の項目を85%以上にする。 | ・あと一歩で達成可能な目標を立てさせ、自ら活動できるような環境を整え支援を行う。 ・目標に向かう姿や取り組みを紹介したり、仲間同士で紹介し合う場を設定したりし自己肯定感を高めさせる。 | | | | | | | | 教務主任 |
| ●健康・体づくり | ●「運動習慣の改善や定着化」 | ●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童を60%にする。 ○スポーツチャレンジの学年の取り組み率を100%にする。 | ・教員や委員会からの広報により外遊びを奨励したり、外遊びをよくしている学年を称賞したりする。 ・スポーツチャレンジの記録を毎回更新しようとする意欲を継続するために、記録を掲示したり学級だよりで広報したりする。 | | | | | | | たくまし部 | |
| | ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 | ●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒100% | ・学級指導や保健だよりで食事の大切さを伝えていく。 | | | | | | | たくまし部 | |
| ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | ●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 | ●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 | ・定時退勤日を金曜日に設定し、職員の意識を高め、定時退勤を徹底する。 ・全職員の時間外勤務時間を把握し、超過している場合は業務を分担するなどの具体例を示し指導する。 | | | | | | | 管理職 | |
| | ○学校行事及び業務改善 | ○会議や研修及び事務等の効率化を図り、教職員が児童と向き合うなど本来の業務に専念できるようにする。 | ・水曜日に各種会議・研修等を行い、他の4日間の児童下校後を授業準備、児童対応の時間として確保する。 ・家庭訪問、懇談会、学期末業務等の効率化を図る。 | | | | | | | 管理職 | |

| (2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目 | | | | 中間評価 | | 最終評価 | | 学校関係者評価 | | 主な担当者 |
|-----------------------|------------|--|---|---------|----------|---------|------|---------|-------|------------------|
| 評価項目 | 重点取組 | | 具体的取組 | 進捗度(評価) | 進捗状況と見通し | 達成度(評価) | 実施結果 | 評価 | 意見や提言 | |
| | 取組内容 | 成果指標(数値目標) | | | | | | | | |
| ○開かれた学校づくり | ○家庭や地域との連携 | ○地元へ根付く教育活動を推進し、発信することで、ふるさとを愛し、誇りを持つ児童を育てる。 | ・韓国学習、茶室クラブ、地元の歴史学習、宿泊学習等、博物館や公民館と連携した教育活動を展開する。 ・学校教育活動を常に地域や保護者に向けて発信する。 | | | | | | | 校長 教頭 教務主任 |
| ○特別支援教育の推進 | ○特別支援教育の充実 | ○定期的に特別支援委員会等を開催し、教員間で情報共有を行い、特別支援教育の充実を努める。 | ・子どもたちが安定した学校生活を送れるように、一人一人が主人公の学校づくりに努め、常に児童に寄り添った指導を心がける。 | | | | | | | 特別支援コーディネーター |

| | |
|----------------|------------------------|
| 5 総合評価・次年度への展望 | ●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 |
|----------------|------------------------|